

俺の姉がこんな
に過保護なわけ
がない



結城
焰

はじめがき

今回は千冬姉本です(*ノ▽ノ*)
細かい設定とか気にせず
ほんわか姉弟の日常ものとして
楽しんでもらえればです(*≧▽≦)ノ☆・°:*

本編では完璧超人だったり、
あまりきゃっきゃうふふする機会がありませんが
こんな弟煩惱なお姉ちゃんとのほんわかライフを
送っているといいな!!(*°Д°*)

結城 焰



両親はだいたい分
家事はだいたい早く
始めたからな

千冬姉ばかりに
頼ってもいられ
ないだろ？

一夏はすごいね

家事なんかなんでも
出来ちゃうんだもん

はじめてのおつかい



初めておつかいに
行ったのは……

織斑一夏 4才

確か4才の時
だったな



何？買い物は
自分が行く？

無理するな

家事の手伝いが
したい？

おつかい位なら
出来るだろ？

千冬姉は完璧超人で
何でも一人で背負い込むから
俺なりに何か力に
なりたかったんだ







駄目だぞ一夏
知らない人についていっては……!

——それはそうとあの女子ども
なに私の弟に気安く
近づいでる……!







お買い得品
いっぱい
買ったから

お買い得品の
ジュースも
買ったんだ♪



おう!
ばっちり



一夏はしっかり
してるな

私も安心して
家事を任せられる
というものだ



ちゃんと渡された
お金で買ったから
むだづかいじゃ
ないよ?

いっしょに
飲もう?



ん
ん
ん



マママン……

しんみり



なーんて
俺も当時は
手伝った気に
なってたけど

かえって面倒
かけてたん
だらうな



でも家事が
出来るように
なっても

結局千冬姉は
世界最強になるしで
ちっとも追いつけて
ないんだよねー

先は長いね
一夏



そうか

一夏のしっかりしてる
ところはそうやって
ずっと二人で暮らして
きたからなんだねー



先生、お風邪
引かれましたか？

？
へんちゅ！



2014年8月17日発行

発行 結城 焰
印刷 恒信印刷株式会社

●本書の全部または一部を無断で複製転載することは
著作者の権利の侵害となり、法律で禁じられています。

yuuki-homura@mail.goo.ne.jp
<http://yuukihomura.amearare.com/>

はじめてのおつかい

初めておつかいに
行ったのは……



織斑一夏 4才

確か4才の時
だったな